

関西・関東在住の水之上出身者 から水之上地区へ義援金



▲写真は、右でご紹介している関西垂水会総会時において、寄附を行った関西在住の水之上出身者の写真です。

本市に大きな被害をもたらした台風16号被害に対し、関東・関西在住の水之上出身者が水之上公民館に義援金を寄贈しました。今回の義援金は、関東・関西の水之上出身者が地元復興のため、義援金を募りました。水之上公民の田原正人館長は「中心となった山園幸夫氏をはじめ関東・関西垂水会の皆様、多額の義援金をいただき誠にありがとうございます。皆様の気持ちを受け止めて、今後も復興に向け頑張っていきます」と話されました。

関西でふるさとを想う 第28回関西垂水会総会



11月6日（日）、第28回関西垂水会総会・懇親会が大阪市で開催され、垂水市出身者やゆかりの関西在住者約150人が出席しました。垂水市からは市議会議員を含め11名が招待され、交流を深めました。また、会場では垂水市特産のブリ・カンパチ・焼酎を堪能していただきながらふるさと納税などのご協力をいただきました。また、台風16号災害に対する義援金と寄附金として、関西垂水会より本市に贈呈されました。今後も関西垂水会と連携・親睦を深めながらまちづくりを進めてまいります。

県民週間標語の部門で 中村心春さん最優秀賞受賞



11月2日（水）、平成28年度地域が育む「かごしまの教育」県民週間標語の部門で中村心春さん（境小学校3年）が最優秀賞を受賞され、境小学校で表彰式が行われました。同週間は、学校・家庭・地域社会の連携と協力の下に、鹿児島県の教育の充実を図るためのものです。中村さんは「賞が取れてとても嬉しかったです。これからも、標語にあるように大きな声でどんどん発表したいです」と話されました。

■表彰された標語
とどけたい外までひびく「はい」の声

梅田聖菜さん 硬筆で文部科学大臣受賞



▲尾脇市長と梅田聖菜さん親子

11月1日（火）、梅田聖菜さん（垂水小6年・いなさき書写書道教室所属）が第31回全国学生書き初め展覧会（硬筆の部）で文部科学大臣賞を受賞し表敬訪問しました。梅田さんは「1番取りたかった賞だったので嬉しかったです。今後も、稲崎聖子先生に細かなところを教えていただき頑張りたいです」と話しました。

■その他受賞
◎第52回全国書初め大会（毛筆の部）
審査委員長奨励賞
◎第32回高円宮杯日本武道館書写書道大展覧会（硬筆の部）
全国都道府県教育長協議会賞

11月8日（火）、垂水市漁業協同組合青年部による魚食普及のための食育学習が行われました。毎年市内の幼稚園・保育園生を対象に行っており、今回はカトリック幼稚園の園児49人が参加しました。子どもたちはカンパチのいけすを見学したのち、昼食に同漁協特製「カンパチバーガー」と「カンパチのはさみ揚げ」をおいしそうに食べていました。同青年部では、アマモの保全活動など藻場保全活動や食育を通じた、水産業の理解・増進の活動を行っています。



魚の美味しさを伝える
垂水市漁協青年部の食育

11月7日（月）、垂水高校で、「岸下校長先生が教える究極の食育」と題して、第1回家庭教育学級が開催されました。当日は、岸下純弘校長による保護者の方への魚の学習・捌き方の指導のもと調理が実施されました。岸下校長は「素材の良さを体験から理解していただき、鹿児島には、美味しいものが沢山あることを知っていただければと思います。そして、家族みんなで食事をする自分の生活をデザインしていただければと思っています」と話されました。



▲魚の捌き方を指導する岸下校長先生（右から1番目）

垂水高校校長が教える
究極の食育